

授業科目

神経科学

担当教員名 山代 幸哉	対象学年	2	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	○

授業の概要

授業の題材は神経系の症状と疾患である。様々な疾患を理解する上で必要な神経系の基礎を理解するため、神経生理学、神経解剖学、診察・検査法、代表的な症状・疾患について学ぶ。

授業の目的

神経系の正常機能と構造の知識、神経系の障害による症状と疾患のメカニズムを理解できることを目標とする。高等学校で学習する『生物学』や1年次の『生理学』『解剖学』の学習内容を始めとする神経生理学・解剖学の知識・理論と神経症状・疾患のメカニズムは密接に結びついている。2年次後期に開講する『臨床神経学』の先行科目でもある。

学習目標

論理的な思考によって神経症状と疾患のメカニズムを理解することが目的である。個別の学習目標は授業の配布資料の中で提示する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション, 最初のセッションの教材, 予習課題などを配布する。		山代 幸哉
	脳の解剖		山代 幸哉
2,3	脳の血管の走路と機能	演習	山代 幸哉
4	虚血性脳血管障害, 頭部MRI, MRA画像検査	講義と演習	山代 幸哉
5	出血性脳血管障害, 頭部MRI, MRA画像検査	講義	山代 幸哉
	脊髄の解剖学・生理学		山代 幸哉
6,7	筋伸張反射	演習	山代 幸哉
8,9	上位運動ニューロン, 体性感覚系	講義と演習	山代 幸哉
10,11	脊髄疾患	講義と演習	山代 幸哉
	下位運動ニューロンの構造と機能		山代 幸哉
12,13	下位運動ニューロンの解剖学・生理学	演習	山代 幸哉
14	下位運動ニューロンと神経疾患?	講義	山代 幸哉
15	下位運動ニューロンと神経疾患?	講義	山代 幸哉

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	病気がみえる 脳・神経	医療情報科学研究所	メディックメディア	2011年	3,800円+税	
参考書	ベッドサイドの神経の診かた (改訂17版)	田崎義明、斎藤佳雄	南山堂	2010年	7,200円+税	
その他の資料						

評価方法

小テスト, レポート, 最終テストによって評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

初回の授業にて担当教員より連絡